

令和3年度第4回石垣市観光開発審議会

議事要旨

日 時	令和4年3月8日(火) 14時00分～16時30分
場 所	石垣市役所 1階 コミュニティールーム
出席者	<p>親盛 一功 会長(石垣市観光交流協会 副会長)</p> <p>越智 正樹 委員(琉球大学 国際地域創造学部 教授)</p> <p>黒島 一博 委員(石垣市観光交流協会 副会長)</p> <p>請盛 真実 委員(石垣市観光交流協会 青年部長)</p> <p>松原 一代 委員(石垣市観光交流協会 理事)</p> <p>浦内 克雄 委員(石垣市民憲章推進協議会 会長)</p> <p>江川 義久 委員(石垣市文化協会 会長)</p> <p>大濱 達也 委員(石垣市商工会 会長)</p> <p>赤城 陽子 委員(石垣市商工会観光部会 部会長)</p> <p>浦崎 美紀子 委員(八重山「女性の翼」の会 会長)</p> <p>国仲 恵亮 委員(八重山青年会議所 直前理事長)</p> <p>前村 司 委員(沖縄振興開発金融公庫八重山支店 支店長)</p> <p>山本 以智人 委員(環境省石垣自然保護官事務所 上席自然保護官)</p> <p>小切間 元樹 副会長(石垣市企画部 部長)</p>
事務局	<p>玻座真、前盛、向井(観光文化課)</p> <p>高牧、宇治田、井芹、宮城(ランドブレイン株式会社)</p>
欠席者	川平 孝子 委員(石垣市婦人連合会 会長)

<会次第>

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 議事
 - (1) 第2次石垣市観光基本計画案について
 - ア 素案説明
 - イ 意見交換
 - (2) 石垣市観光危機管理計画（仮称）案について
 - ア 素案説明
 - イ 意見交換
- 4 その他
 - (1) 今後の予定など
- 5 閉会

<配布資料>

- ・資料1：第2次石垣市観光基本計画案
- ・資料2：石垣市観光危機管理計画（仮称）案
- ・参考資料1：第2次石垣市観光基本計画パブリックコメント意見内容
- ・参考資料2-1：石垣市観光危機管理計画(仮称)パブリックコメント意見内容
- ・参考資料2-2：石垣市観光危機管理計画(仮称)庁内照会
- ・参考資料3：石垣市観光危機管理計画(仮称)図上訓練の成果
- ・参考資料4：第3回観光開発審議会議事要旨

○議事内容

- ・第2次石垣市観光基本計画・石垣市観光危機管理計画(仮称)策定に係り、上記の次第に基づいて第4回石垣市観光開発審議会を行った。

【以下、発言要旨】

親盛会長	今日はお忙しい中お集まりいただき、誠にありがとうございます。 本日で4回目の審議会となりますが、今回が観光基本計画と観光危機管理計画の素案検討の最終審議会となるため、皆様には活発なご意見をよろしくお願ひいたします。
親盛会長	はじめに資料の確認を事務局よりお願ひします。
事務局 (前盛)	・配布資料の確認を行った。
事務局 (玻座真)	・次第に沿って資料1の内容に基づき、第2次石垣市観光基本計画案について説明した。

～以下、資料説明に対する質疑応答～

〇〇委員	3点意見がある。 1点目、36頁について、「長期滞在型観光の推進」とあるが、早朝型観光やナイトタイムコンテンツに関する具体的なプログラムを記載いただけないか。これらのコンテンツを推進することにより滞在日数も増える。 2点目、43頁のSDGsについてはかなりコンパクトに記載されている印象を受ける。SDGsにはターゲットが169あり、観光業の役割が具体的には2つ設定されている。雇用の創出、文化振興、地域産品の創出を明記してはどうか。産業まつりではマッチング事業を実施しており、ウェルネスツーリズム関係者からも問い合わせが来た。SDGsでは自然環境に関する視点も重要だが、雇用創出や産品創出に関する記載を増やしてはどうか。 3点目、46頁について、KPIとKGIの現状数値がわからないため、どの程度目標に向かって努力したらいいのか明確ではない。宿泊日数の設定も合わないように感じる。
事務局 (玻座真)	1点目、36頁について、早朝型観光やナイトタイムコンテンツの記載表現を検討する。本日は最終審議会のため、今後の修正については事務局にご一任いただきたい。 2点目、43頁について、SDGsの観光業に関する記載表現を事務局にて検討する。 3点目、46頁について、量から質への転換を目指すにあたり、長期滞在を推進する趣旨で目標を記載している。長期滞在型コンテンツを醸成し、さらに磨きあげることで、宿泊数を増やすことができると考える。 入域客数に関する目標値は、量から質への転換の観点から本計画では設定していない。滞在日数を伸ばすことで島内の経済波及効果が高まり、自然への負荷が軽減される。観光消費額も他の目標値と同様に10年後の目標として設定しており、これからの10年間で取り組みを実施し、磨き上げ、高単価かつ長期滞在型観光を推進していく。 KPI・KGIに関する現状値の記載は検討する。
〇〇委員	36頁に関して、早朝型観光、ナイトタイムコンテンツを明記することには意味がある。長期滞在型観光としては、施策6はコンテンツ作りなのでくより具体的な事業イメージ>箇所に記載すると良いかと思うが、記載表現は事務局と相談する。 43頁に関して、SDGsについて、観光業に関連するターゲットは記載すべきだと思う。施策19の「多角的な対応」というのは様々なものに観光にて対応しているので、「様々なターゲットに訴求する推進～」と記載してはどうか。
〇〇委員	48頁のKPI⑥に関して、「嫌悪感を抱いている～」は表現が露骨である。「観光客を歓

	迎したい～」などに記載表現を修正してはどうか。
〇〇委員	観光客に対して、非常にポジティブに歓迎することは理想的であるが、現実的ではないと考えたため、あえてネガティブな表現とした。
〇〇委員	記載趣旨は理解した。46頁と48頁の該当文言の記載を統一いただきたい。
事務局 (玻座真)	記載文言を統一する。
〇〇委員	新聞などで、すでにご存じの方もいらっしゃると思うが、旅行形態に関して情報提供をする。沖縄振興開発金融公庫より日本交通公社に委託し、旅行牽引世代のミレニアム世代とZ世代の車離れが沖縄旅行への阻害要因となっている旨のレポートを公表した。 また、修学旅行で沖縄県を訪れたことはあるが、その後のレポートにつながっていない現状があるため、さらなるコンテンツの醸成が必要である。 これまでの考え方ではなく、旅行牽引世代に訴求する働きかけが重要となる。
事務局 (玻座真)	私にも息子がおり、Z世代である。生活を共にすると親世代とは感覚が違うことが多々ある。車離れの現状を逆手にチャンスと捉えて取り組みを進めたい。 41頁の施策15に関して、観光地の底上げを重要視している。高校卒業後、20代の方の多くは石垣から離れてしまい人材不足が起きている旨の意見を事業者ヒアリングにていただいた。20代の方が何を考えており、その感性や行動力をどのように観光施策に反映するのか。いかにZ世代の方々を誘客して、石垣に欠けている若者文化などを吸収し、石垣の若者と融合できればと考えている。これから取り組みを実践する中で研究を深めていきたい。
事務局 (玻座真)	・次第に沿って資料2の内容に基づき、石垣市観光危機管理計画案について説明した。
	～以下、資料説明に対する質疑応答～
〇〇委員	川平湾公園内にて、市が建物を建設中だが話し合いもなく、建築物を誰のためにつくるのか説明もないため意図がわからない。その一方、川平ではタクシーやバスの乗降場所がなく路上駐車が目立つ。観光客や障がい者にとって道路横断は不便で、危険である。実際に事故も発生しており、これも観光危機と考える。
事務局 (玻座真)	施設の建設は建設部が所管しており、観光文化課は事業者などへの説明に関して、直接関与していないため、詳細については私からは申し上げることができない。 駐車場問題などに関しては、観光危機管理計画か観光基本計画にて位置付けをして、観光プラットフォームなどで議論をするのか今後の検討事項である。しっかりと観光地経営の視点で対策や取り組みを進めたい。事業の在り方や進め方については担当課ではないので、回答できないが、いただいたご意見を担当課に申し伝える。
〇〇委員	14頁に環境危機として、温暖化と海洋汚染が位置付けられている。長期的な観点だが、サンゴ礁の減少は切実な問題である。サンゴ礁の減少を具体的な例として位置づけていただきたい。 2030年に世界のサンゴ礁の約9割が絶滅すると予想されており、このままだと八重山

のサンゴ礁も無くなってしまう。

石垣島周辺海域はマリンレジャーなども盛んな地域なので、サンゴ礁の減少は観光危機に直結するため、取り組みをしていただきたい。

事務局
(玻座真) サンゴ礁の保全は観光基本計画でも位置付けており、観光の源泉であると認識している。記載表現は事務局にて検討したいと思う。

〇〇委員 観光危機管理計画は非常に内容が作り込まれているため、意見はない。
ただ、観光危機管理計画は観光基本計画のサポートとして位置付けられている一方で、計画中で、基本計画との連関、特に推進体制箇所での記載が不足しているのではないかと。本審議会において、「半グレなどの悪質な事業者は観光基本計画と観光危機管理計画の両計画にまたがる課題である」と玻座真課長に申し上げた。〇〇委員の「悪質な事業者を取り締まる条例などを市で制定できないか。」といった意見に対し、玻座真課長は「観光まちづくりとして市民主体でのルール決めが先にあるべき。対応できない事象に対しては条例にて対応する順番が良いのでは。」と回答されていた。

また、観光基本計画にて位置づけている観光まちづくり協議会や観光地経営戦略会議との関係性を観光危機管理計画にも記載いただきたいが、詳細な会議体の整理を今の段階で実施することはかなり難しいため、実際には次年度に詳細を設定することになるかと思う。会議体が複数設定すると参加される市民、民間事業者、行政の方々の負担が増え、役割分担を整理する必要がある。

第4章計画の効果的な実現に、「危機管理プラットフォームは観光まちづくり協議会や観光地戦略会議との平常時や回復期における関係性や役割の整理を行い、適切な連携をそれらとともに遂行していく」を追記してはどうか。その取り組みを次年度からどのように事業として進めていくのかを検討してはどうか。

事務局
(玻座真) 事務局と記載表現を検討する。

〇〇委員 3点意見がある。
1点目、地震、津波、台風とあるが、分かりやすいように計画書をインデックスなどで表現することはできないか。目的別で分けた方が分かりやすい。
2点目、36頁に関して、「総合体育館に一度集約し～」と記載があるが、人が集中してしまうとパニックが発生する可能性があるため、飛行機搭乗の優先順位によってグループ分けをしてはどうか。
3点目、ユニットの組織体系を文章だけではなく、図式化していただけないか。

事務局
(玻座真) 1点目について、受託業者と協議の上、表現方法を検討する。頁色等で工夫したい。
2点目について、「総合体育館に集約し」とは概論として記載している。今後の会議体での検討を踏まえて、詳細検討を進めたい。
3点目について、図式化は印刷まで間に合えば対応したい。事務局にて対応を検討する。

〇〇委員 他部署で同様の危機管理計画などは策定しているのか。
また、商工会事務局はユニットに入るのか、法人会はどうするのか。商工会館は災害時には浸水する可能性が高いと思うが、どのように対応するのか。観光協会は市役所に

参集すると記載されているが、他部署で策定されていないのであれば、商工会についても事前に位置づけることは可能か。

事務局 (玻座真) 市役所の移転は災害対策の意図で行われた。同様の危機管理計画は部署別には策定しておらず、地域防災計画に含まれていると理解している。

商工会には観光部会があり、会議体に位置づけることは本計画の策定までの時間制約の都合上厳しいので、計画策定後に検討を深めたい。

〇〇委員 サンゴの保全に関して、ハワイではサンゴや海洋生物を守るため、ビーチへの入客の禁止日を設定していた。ここ2年程度のコロナ禍により、海洋状況は回復したと聞いている。また、石垣島周辺にはサンゴ礁2000種のうち800種が生息している。

多くの観光客に来ていただきたい思いもあるが、石垣市でも観光入客数を制限する日などを設定してはどうか。

事務局 (玻座真) 竹富町西表島では世界自然遺産認定に際し、人数制限に関する検討が進んでいる。入域観光客数をコントロールすることは観光危機管理計画の範囲ではなく、観光基本計画で地域マネジメントに含まれるため、そちらの方で検討を進める。

親盛会長 本日の会議が両計画案審議の最終となっている。本日の意見に関する修正は、会長にご一任いただき、市長への答申としたいがよろしいか。

一同 修正対応を会長に一任する。

【実施風景】

